

主要科目の特長（商学部商学科）

商学科の教育課程（カリキュラム）を構成する各科目群・分野の内容は次のとおりです。

（1）NGU 教養スタンダード科目

・キリスト教に関する科目

＜キリスト教＞に関する科目は、キリスト教主義大学である本学の核心です。必修科目の「キリスト教概説 1」「キリスト教概説 2」では、世界の文明に大きな役割を果たしたキリスト教を、人間、歴史、社会、生命などとの関わりにおいて考え、世界に通用するしっかりとした人間観・世界観を築く足がかりとします。

・自己理解と自己開発に関する科目

1 年生の必修科目である「基礎セミナー」では、少人数クラスで「大学で学ぶことの意義」について理解し、有意義な大学生活を送る足がかりを形成することを目的としています。さらに、大学での学びを促進させるスキルの習得をめざして、授業を受ける技術、プレゼンテーションの技法、情報検索の方法など、2 年次以上のゼミナール活動の基本となるスキルについて学ぶことを目標としています。また、「キャリアデザイン 1a～2b」などの科目を配置して、「将来になりたい自分とは何か」についてしっかりしたイメージを養うとともに、職業を考え将来のキャリアを設計するための足がかりとします。

・情報に関する科目

高度情報化社会の要請に応えるため、数理・データサイエンス・AI 教育の充実は、本学の情報教育の特色です。1 年次の「情報処理リテラシー（必修科目）」では、ノートパソコンを使って情報処理の基礎知識と基本スキルを学修します。また、「データサイエンスリテラシー」「データサイエンス概論」「AI 概論」「情報処理論」などでは、数理・データサイエンス・AI の基礎知識と様々な応用法、並びに近年のデータサイエンス分野の動向などを学修します。

・言語とコミュニケーションに関する科目

外国語については、「英語」を必修として学ぶほか、「ドイツ語」、「フランス語」、「スペイン語」、「中国語」、「韓国語」を学ぶことができます（学部によっては履修できない外国語もあります）。また、「日本語表現」を必修として学び、日本語表現法関連科目を学修することができます。

・社会的教養に関する科目

自分で考える力を養い、深みのある人間性を身につけるためには、一般教養の修得が欠かせません。本学では、＜歴史・文化＞、＜社会＞、＜自然・人間・生命＞、＜地域＞の 4 区分の学修を通じて、適切な教養の修得を目指します。

・教職に関する科目

ここに配置されている科目は教員免許取得をめざして教職課程に加入している者だけが受講できる科目です。実際に教員免許を取得するためには、教職課程履修規程にもとづき、この領域の科目に加えて、その他の指定された科目を履修する必要があります。

(2) 専門科目

《専門科目》は《学科基礎科目》《学科専門科目》《学科関連科目》という3つの科目区分によって構成されます。

- ① 《学科基礎科目》は、「商業概論」「マーケティング概論」「経営学総論1・2」「ファイナンス基礎論」「簿記入門」「会計学入門」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」を配置しています。いずれも必修科目として、商学を理解する上で必要な基礎的知識や理論を学修します。
- ② 《学科専門科目》は、《流通・マーケティング》《経営・ファイナンス》《簿記・会計》《スポーツマネジメント》《ゼミナール》の分野に分かれます。各自の進路、関心に応じて各分野の専門的な内容を学修します。
- ③ 《学科関連科目》は、《キャリア・資格支援》《語学・海外留学》の分野に分かれます

(3) 演習科目

「基礎セミナー」

1 年次配当の必修科目です。授業は少人数でおこなわれ、導入・基礎教育を主要な目的にします。大学では、自分で調べ、考え、整理し、論理的に文章をまとめることが求められるようになります。「基礎セミナー」では、大学での学修方法、レポートの書き方、個人やグループでおこなう発表方法など（アカデミック・スキル）を身につけます。さらに、学生生活を送る上での基本的な心構え（ソーシャル・スチューデント・スキル）を養います。

「専門演習」

1) 専門演習とは

「専門演習（以下、ゼミ）」は、2・3・4年次の3年間をとおして受講し、社会で活躍できる知識の獲得および人格形成に向けた「学び」を展開する必修科目です。ゼミは少人数クラスでおこない、商学に関連する専門的なテーマについて深く研究します。例えば、PBL（課題解決型学修）に基づき、フィールドワークや学生の研究発表を中心にし、教員とゼミ生との間、ゼミ生間のディスカッションを活発におこないます。さらに、研究活動の成果として、卒業研究論文（以下、卒業論文）の執筆が求められます。

商学部教員による多種多様なゼミナールが配置され、全員が必ずいずれかひとつのゼミに加入します。詳細は、1年次秋学期に開講される「専門演習入門」で開かれるガイダンスなどで指示・連絡します。

2) 専門演習の履修にあたって

1. ゼミ選択：

専門演習は各々の学生が商学部で学ぶうえで自らの専門性を形成する体系的な科目であり履修には主体的で積極的な研究態度が要請されます。自己の研究課題や将来の進路を考え、各ゼミのテーマのなかから自分の目的や目標の達成に有意義と思われるゼミを志望してください。

2. 資格：

「専門演習（2年）」から「専門演習（3年）」への履修継続の際、2年次終了時点で総修得

単位数が 40 単位 に満たない、あるいは「専門演習（2 年）」の単位が認定されない場合は「専門演習（3 年）」を履修できません。

3. 卒業論文：

「専門演習（4 年）」では、自ら研究課題を設定しゼミの担当教員の指導のもと論文（卒業論文）を作成します。この論文を担当教員に提出し受理されることで「専門演習（4 年）」の単位が一括認定されます。

◎専門科目の一部をピックアップ

check! 証券市場論	check! スポーツ経営論
	
何を学ぶのか 証券市場の構造と機能について学ぶ。 資本主義経済の発展において、重要な役割を担っている証券市場の構造と機能について学んでいきます。そして、NISAなどによる証券市場での資産運用にはどのようなリスクがあるかについても考察していきます。	何を学ぶのか スポーツビジネスに関するマネジメントを学ぶ。 スポーツ産業とその歴史を理解し、スポーツにおける経営学、マーケティング理論などの考え方をふまえて、プロスポーツ、イベント、メーカー、メディアなどスポーツビジネスを取り巻く現場のマネジメントを学びます。
将来にどう生きるのか 資産運用や就職活動に役立つ知識を養う。 現代では、インターネットの膨大な情報によって証券市場は絶えず変化します。この授業では、社会に惑わされない情報の取り扱い方を身につけることで、資産運用や就職活動に役立つ知識を養うことができます。	将来にどう生きるのか スポーツビジネスを考察する力が身につく。 現在のスポーツビジネスを分析し、より高い財やブランド、サービスの価値をどう生み出すかを考察する力を身につけられます。そして、今後さらなる成長が見込まれるスポーツ産業の可能性について理解することができます。